

創価大学(学部入学定員:1,600人)

## 【構想の目的・育成するグローバル人材像】

大学教育の国際的通用性の向上を通じ、21世紀の国際社会が求める「創造的人間」を育成する。

## 【構想の概要】

本学の理念のもと、以下の資質を備えるグローバル人材を育成する。

- TOEFL iBT80に相当する外国語運用能力、幅広い教養と深い専門性
- 海外修学体験を通して実践的に学ぶ異文化理解力と国際社会に積極的に関与する姿勢
- 本学の歴史と教育理念を学ぶ「大学科目」の履修を通して培う共生の理念

## ■ 教育課程の国際通用性の向上

### ○ 教育課程の国際通用性の向上のための取組

単位制度の実質化と教育の質的向上をさらに推進し、学生の能動的学修を促す。そのためにシラバス検索システムの英語化、国際基準のナンバリング整備、ラーニング・アウトカムズ測定の全学展開、アクティブ・ラーニングの全学的推進を行う。

### ○ 戦略的な国内外への教育情報の発信

大学の教育に関する情報について、更に積極的に情報公開項目を拡大するとともに多言語化、SNSなどのメディアの有効活用を行う。

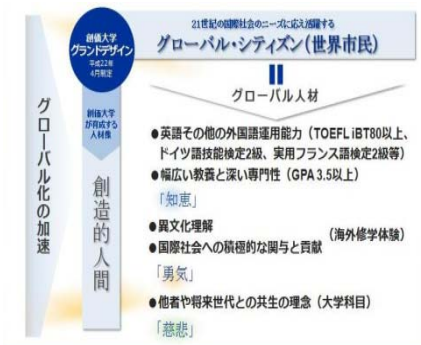
### ○ 事務体制のグローバル化

英語に堪能な職員を育成するため、英語研修やSD海外研修を実施し、平成28年度には職員の25%がTOEIC 730点以上を達成していることを目指す。



〈留学生と日本人学生の共学プログラム〉

## ■ グローバル人材として求められる能力の育成



### ○ 徹底した語学教育の取組み

経済学部で実績のあるIP (International Program)を全学部展開し、各学部で英語で学ぶ専門科目を学生に提供する。またESA (English for Study Abroad)、ECD (English for career Development) を学部横断プログラムとして開設する。

### ○ 海外修学体験機会の提供

これまでの46ヶ国・地域、140大学との交流実績をもとに各学部主催の短期海外研修の新設など海外修学機会の一層の拡大・充実を期す。

## ■ 語学力を向上させるための入学時から卒業時までの一体的な取組

### ○ 入試における中等教育段階までの外国語力・留学経験等の適切な評価

公募推薦入試等においてTOEFLやTOEICのスコアが高い水準にある者については、学力テスト(英語)を免除するなどの改革を行う。

### ○ 効果的な語学教育及び教育体制

入学前準備教育として、語学教育のe-learningを導入する。また現在行っているプレースメントテストによる習熟度別クラス編成をさらに効果的なものに改良するとともに、学生の情報データベースを開発し、入試から卒業までの総合的な語学能力向上に活用する。

## ■ 教員のグローバル教育力の向上

### ○ 教育体制のグローバル化

教員採用において、海外メディアを通じた国際公募を取り入れ、専門科目を担当する外国人教員、並びに海外大学院から博士号を取得し、外国語による講義が可能な日本人教員を積極的に採用する。

### ○ グローバル教育力向上のための取組

各学部単位、また学部横断型のFDセミナー等を開催し、日本人教員のグローバルな教育力の向上を図る。また海外交流校並びにアメリカ創価大学と協働で、高等教育に関する実践的な教員研修プログラムを開発し、活用する。

## ■ 日本人学生の留学を促進するための環境整備

### ○ 動機付けや留学を促進するための取組

休学中に私費で海外留学して取得した単位の認定制度を開始する。また留学情報ステーションを新設し、留学情報データベースの構築及び留学情報の収集、発信を行う。

### ○ 留学中から帰国後にわたるサポート体制

キャリアセンター、国際部等大学事務局の各部署が連携し、「海外留学サポート会議」を開催し、留学した学生をサポートする。

卒業・修了時に学生が修得すべき具体的能力

- ①グローバル人材の基盤としての外国語能力(英語はTOEFL iBT80点相当のレベル、他の外国語においては各言語で教授する大学において学部の授業の履修を許可されるレベル)。
- ②幅広い分野における教養と各人の専攻した分野における専門的知識(本学のGPA制度(5点満点)において3.5以上)。
- ③異なる文化的背景を持つ人々の間に共通の目標や利益を提示し、共同作業を通じてネットワークを形成できる能力(海外修学体験における積極的な異文化コミュニケーションの実践を通じて修得)。
- ④他者の利益と将来世代の負担を考慮できる人類的視野と共生の理念(本学の歴史と教育理念を学び、学生自身が学びの意味を掴むことを目的として設置されている「大学科目」において、「人間教育論」、「現代文明論」、「大学論」等の授業を履修することで修得)

本構想において実現する達成目標

全学		2011	2012	2013	2014	2015	2016
外国語カスタンダードを満たす学生数				250人	310人	380人	480人
うち海外留学未経験者数 (A)				30人	30人	30人	30人
海外留学経験者数 (B)		589人	600人	700人	800人	900人	1000人
卒業[予定]者数 (C)		1752人	1801人	1763人	1721人	1688人	1613人
比率 ((A+B)/C)				41.4%	48.2%	55.1%	63.9%
経済学部	卒業時の外国語カスタンダード	iBT80点以上等		63人(5)	75人(5)	90人(5)	105人(5)
	海外留学経験者数	160人	162人	179人	198人	217人	239人
	卒業[予定]者数	280人	272人	280人	273人	256人	270人
経営学部	卒業時の外国語カスタンダード	iBT80点以上等		47人(5)	59人(5)	68人(5)	80人(5)
	海外留学経験者数	109人	112人	132人	150人	170人	189人
	卒業[予定]者数	269人	292人	283人	269人	276人	277人
法学部	卒業時の外国語カスタンダード	iBT80点以上等		36人(4)	43人(4)	55人(4)	65人(4)
	海外留学経験者数	84人	85人	99人	113人	129人	149人
	卒業[予定]者数	330人	359人	330人	320人	305人	274人
文学部	卒業時の外国語カスタンダード	iBT80点以上等		72人(8)	90人(8)	102人(8)	125人(8)
	海外留学経験者数	179人	181人	196人	218人	244人	265人
	卒業[予定]者数	429人	416人	435人	424人	424人	404人
教育学部	卒業時の外国語カスタンダード	iBT80点以上等		18人(4)	22人(4)	32人(4)	50人(4)
	海外留学経験者数	30人	32人	52人	60人	69人	78人
	卒業[予定]者数	210人	250人	229人	223人	212人	203人
工学部	卒業時の外国語カスタンダード	iBT80点以上等		14人(4)	21人(4)	33人(4)	55人(4)
	海外留学経験者数	27人	28人	42人	61人	71人	80人
	卒業[予定]者数	234人	212人	206人	212人	215人	185人

※1)「外国語カスタンダードを満たす学生数」の学部ごとの記入欄の( )内は、外国語カスタンダードを満たす学生数のうち「単位取得を伴う海外留学未経験」の学生数を示す。

※2)上記の「海外留学経験者数」は、いずれも単位取得を伴う海外留学経験者数であり、単位取得を伴わない海外留学経験者は含まない。